

ハルナグループ全体像

ハルナグループ各社紹介

1996年2月 創業	1997年5月 創業	2006年4月 創業	2007年3月 事業開始
ハルナビバレッジ(株)	(株)ハルナ品質環境研究所	ハルナエコロジー(株)	ハルナエコロジー付属 ウェルネスサイエンス研究所
			
<ul style="list-style-type: none"> ●清涼飲料水の製造 ●販売 ●マーケティング 	<ul style="list-style-type: none"> ●品質管理 ●環境管理 ●微生物研究 	<ul style="list-style-type: none"> ●自社開発による飲料製品のマーケティング ●国内販売 ●海外輸出 ●飲料製品の商品企画開発 ●海外製品マーケティング ●輸入販売 	<ul style="list-style-type: none"> ●アンチエイジングに関わる科学研究

2005年3月 創業	2005年4月 開講	2007年10月 創業	2008年1月 創業	2008年4月 創業
ハルナロジスティクス(株)	ビジネススクール	ハルナヨーロッパSA	タニガワビバレッジ(株)	ハルナインテリジェンスネットワーク(株)
				
<ul style="list-style-type: none"> ●倉庫事業および運送事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●社内講師による中堅社員及び、管理・監督者を対象とした社内講座の開設 ●大学教授や創業者等の外部講師を招聘した公開講座の開設 	<ul style="list-style-type: none"> ●EUを中心に茶系飲料及びオリジナル清涼飲料をマーケティング・販売活動 ●本社フランスパリ 	<ul style="list-style-type: none"> ●天然水製造販売 ●清涼飲料水製造販売 ●豆乳受託事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●人事管理 ●財務管理 ●情報管理 ●広報企画

ハルナビレッジ株式会社 会社概要

商号 ハルナビレッジ株式会社
法人設立 1996年2月23日
代表者 代表取締役会長 兼 グループCEO 青木 清志
 代表取締役社長 小出 信介
 代表取締役常務 青木 麻生
所在地 本社・工場／群馬県高崎市足門町39-1
 TEL:027-372-5875 FAX:027-372-5877
 東京本部／東京都中央区日本橋3-5-13 三義ビル5F
 TEL:03-3275-0191 FAX:03-3275-0192
 管理本部／群馬県北群馬郡榛東村広馬場3044-12
 TEL:0279-55-1241 FAX:0279-55-1344
資本金 4億2,090万円(発行済株式数8,718株)
売上高 114億円(2008年3月末)
事業内容 清涼飲料水の製造販売
社員総数 145名



お客様 50音順 ※いずれも敬称は省略させていただいております。.....

〈販売先〉

- ・石光商事・伊藤忠商事・岩倉産業開発・えひめ飲料・オアシス・王子製紙・カゴメ・カルピス・黒越化学・ココロナショナルビレッジ・コープネット
- ・小林製菓・キリンビレッジ・サッポロ飲料・サントリー・JR東日本ウォータービジネス・ジャスティス・セントラルジャパンロジスティクス・双日食料
- ・日本生活協同組合連合会・大丸興業・タマノイ酢・富永貿易・トレッカ・ナカザワコーポレーション・ニチレイフーズ・日本たばこ産業・ハラダ製茶
- ・ブルボン・マルサンアイ・丸紅食糧・三國ココロラボトリング・ビバック・不二家・ベイシアグループ・ポッカコーポレーション 他

金融機関様 50音順 ※いずれも敬称は省略させていただいております。.....

〈銀行〉

- ・足利銀行・群馬銀行
- ・商工中金・中小企業金融公庫
- ・東京都民銀行・東和銀行
- ・八十二銀行・みずほ銀行
- ・三菱東京UFJ銀行
- ・横浜銀行

〈証券〉

- ・新光証券
- ・大和証券
- ・野村証券
- ・三菱UFJ証券

〈リース〉

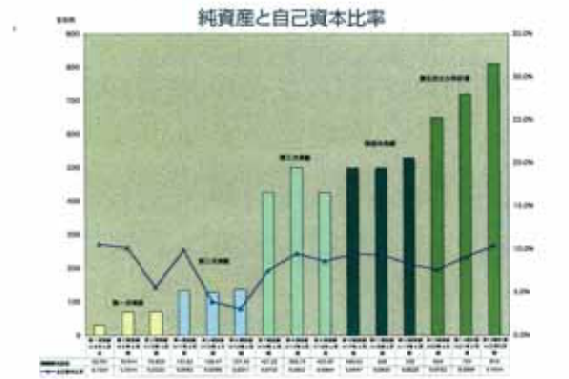
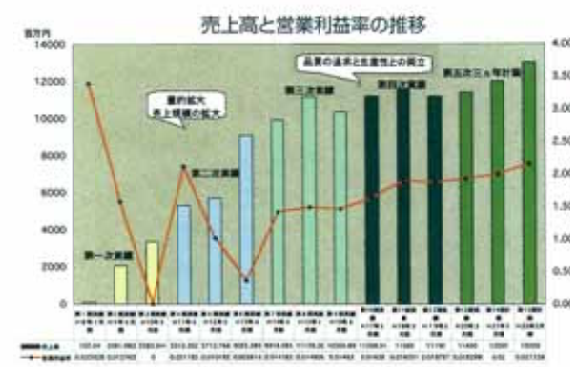
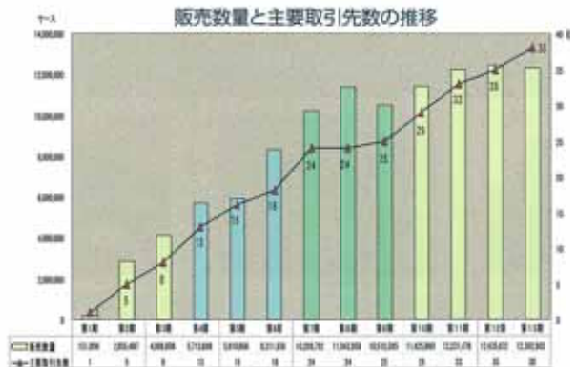
- ・オリックス
- ・くんぎんリース
- ・東京リース
- ・東銀リース
- ・東和銀リース
- ・三菱UFJリース

〈ベンチャーキャピタル〉

- ・日本ベンチャーキャピタル
- ・八十二キャピタル
- ・みずほキャピタル
- ・三菱UFJキャピタル

〈顧問〉

- ・内田法律事務所
- ・合同会計
- ・新日本監査法人
- ・南法律事務所
- ・浜四津法律事務所



グループ各社概要

商号 株式会社ハルナ品質環境研究所
 商号変更 2008年4月1日
 代表者 代表取締役社長 苔米地 章
 事業内容 1 総合衛生管理
 2 製造工程管理業務
 3 原料・資材・製品の検査業務
 資本金 5,000万円
 売上高 1億4千万円(2007年3月末)
 社員総数 24名
 本社 群馬県北群馬郡榛東村広馬場3044-12
 ハルナビパレッジ
 TEL:(027)372-2700 FAX:(027)372-7046
 タニガワパレッジ
 TEL:(0278)62-1114 FAX:(0278)62-1144

商号 ハルナロジスティクス株式会社
 法人設立 2005年3月1日
 代表者 代表取締役社長 青木 清志
 資本金 5,000万円
 売上高 7億3千万円(2008年3月末)
 社員総数 19名
 事業内容 倉庫業務・荷役作業および一般貨物利用運送事業
 群馬県北群馬郡榛東村広馬場3044-12
 本社 TEL:0279-30-6235(代表) FAX:0279-54-6115
 20,181㎡(6,105坪)
 総敷地面積 第一倉庫(2,000坪) 第二倉庫(1,000坪) 第三倉庫(740坪)
 営業倉庫 第四倉庫(865坪) 第五倉庫(1,000坪) 駐車場(3,000坪)

商号 ハルナエコロジー株式会社
 法人設立 2004年1月9日
 代表者 代表取締役社長 青木 清志
 事業内容 ・国内販売・海外輸出
 ・海外製品マーケティング輸入販売
 ・飲料製品の商品企画開発
 資本金 5,000万円
 売上高 2億5千万円
 本社 東京都中央区日本橋3-5-13 三義ビル5F
 TEL:03-3517-5745(代表) FAX:03-3275-0192
 関連会社 ハルナエコロジー西日本株式会社
 福岡県福岡市南区老司町2-14-24-801
 TEL:092-565-2643(代表)
 フリーダイヤル:0120-867-249

商号 タニガワパレッジ株式会社
 法人設立 2008年1月1日
 代表者 代表取締役会長 青木 清志
 代表取締役社長 中澤 幹彦
 資本金 2億円
 社員総数 110名
 事業内容 清涼飲料水の製造販売 豆乳受託事業
 本社 群馬県利根郡みなかみ町政所1011番地
 製造本部 TEL:0278-62-1111(代表) FAX:0278-62-1144
 営業本部 東京都中央区日本橋3-5-13 三義ビル5階
 TEL:03-3275-0191 FAX:03-3275-0192
 経理財務部 群馬県北群馬郡榛東村広馬場3044-12
 TEL:0279-55-1241 FAX:0279-55-1344

ウェルネス研究所
 研究所長 医学博士 青木 陽生
 主席研究員 農学博士 邑上 豊隆
 特別顧問 工学博士 大野 寿彦
 ～アドバイザー コミッティー～
 ・青木 陽生 医学博士 免疫学(慶応大学医学部出身)
 ・五島 知郎 医学博士 消化器(医療法人三愛会 院長)
 ・伊谷野 克佳 医学博士 循環器(伊谷野クリニック院長)

商号 ハルナインテリジェンスネットワーク株式会社
 法人設立 2008年4月1日
 代表者 代表取締役社長 栗原 健一
 事業内容 ・人事管理
 ・資金調達及び資金管理・運用
 ・会計業務
 ・情報ネットワークの構築・管理
 ・人材教育
 ・CSR
 ・株式上場

商号 Haruna Europe SA
 法人設立 2007年10月23日
 代表者 CO-Founder 青木清志
 CO-Founder Peter Larsson
 事業内容 ・飲料、食品の開発販売
 ・輸出入販売
 資本金 15万ユーロ
 社員総数 6名
 本社 102 Avenue des Champs Elysées 75008
 Paris, France
 Orders and logistics Europe:
 TEL:+351 21 390 3559
 FAX:+351 21 397 6403

資本金 1,000万円
 社員総数 9名
 本社 群馬県北群馬郡榛東村広馬場3044-12
 TEL:0279-55-1241(代表) FAX:0279-55-1344

沿革

1996年	2月	資本金30,000千円で法人設立
	5月	第一回株式上市準備委員会開催
	7月	取締役会で株式公開することを決議
	11月	東京にマーケティング本部設置
1997年	3月	従業員持株会発足
	5月	ハルナビバレッジ研究所設立
	6月	第二工場稼働開始
1998年	10月	新日本監査法人による調査及び指導開始
2000年	2月	第三工場稼働開始
	5月	HACCP取得に向け合同委員会発足
2001年	7月	第三工場JAS認定工場許認可取得
2002年	2月	リサイクルシステム協議会発足
	8月	第八期第1四半期報告会開催スタート
2003年	4月	環境会計に着手
	4月	企業競争力の強化を図るため市場開発部門を設置
	4月	HACCP総合衛生管理委員会発足
	10月	「デカテス」産学官共同開発プロジェクト開始 (高崎健康福祉大学)
12月	第四次中期経営に向け収益構造の実現を図るため投資を実施 [人材教育投資、生産合理化投資、総合衛生管理 HACCP対応投資] [第二工場において、品質及び生産性の向上を目的とした、 クリーンルームと充填設備を増設]	
2004年	4月	物流関連企業ハルナロジスティクス株式会社設立
	10月	成果主義の導入
2005年	4月	ビジネススクール開講
	10月	敷地内に緑地公園を整備、地元に開放
2006年	1月	会社のIT化に着手
	2月	創立十周年記念式典開催
	4月	ハルナビバレッジ株式会社 代表取締役会長に青木清志就任 代表取締役社長に小出信介就任
	5月	ハルナエコロシー株式会社 研究開発分野 海外事業部分野拡大
	9月	全工場においてHACCPの承認
2007年	2月	本社工場「食品衛生優良施設」 群馬県知事賞受賞
	3月	リサイクルシステム協議会発足
	4月	ハルナエコロシー株式会社 ウェルネスサイエンス研究所発足
	10月	タニガワバレッジ株式会社創業 代表取締役社長に中澤幹彦が就任
	10月	ハルナヨーロッパ(SAフランス)パリにて ハルナグループとPater Larsson氏共同創業
	12月	グループ会社 合同の全体会議開催
2008年	1月	タニガワバレッジ(株)事業開始
	3月	タニガワバレッジ(株)設備完成竣工式
	4月	ハルナインテリジェンスネットワーク株式会社創業 代表取締役社長に栗原健一が就任
	4月	株式会社ハルナ品質環境研究所 代表取締役社長 苫米地章 ハルナビバレッジ研究所を商号変更し事業開始



1996年2月起業

起業者である現代表取締役会長青木清志が、徹底したマーケティングを行いペットボトル飲料に可能性を見出し、関東1、水の良質さ、競合他社が多く、また物流拠点としての立地条件から群馬県高崎市足門町に「ハルナビレッジ(株)」を創業しました。創業後3か月後、株式上場公開を発表、準備委員会を発足。営業拠点を東京に事務所を開設しました。

社員への福利厚生の充実 研究所設立における 品質管理向上安全性の重視

起業1年後1997年には、社員の経営参画意識を高めるため従業員持株会を発足、当時従業員49名、役員を除く41名全てが持株会へ入会しました。2ヶ月後に品質管理の徹底強化と品質向上を柱にしたハルナビレッジ研究所が創立しました。



監査による経営管理の徹底

創立より2年目に、経理・財務面の透明性を図るため、新日本監査法人による調査指導を開始致しました。現在でも継続して、ご指導をいただいています。

衛生管理の徹底： HACCPへの挑戦

総合衛生管理製造過程(HACCP)の認証を目指し品質改善、品質方針・目標を掲げたHACCP合同委員会を発足しました。

四半期報告による経営の透明性

株主の皆様や金融機関の皆様をお招きした四半期報告会を開催。経営・生産・営業・品質の報告をスタートさせました。



使用済み茶葉のリサイクル活用

使用茶葉を地元農家の方々へ提供し、肥料に使用して頂くリサイクル活用の実施をしています。

健康に着目した 地元県産品の飲料化

地元県産品「はたけしめじ」を産学官で研究開発し飲料の製品化をはじめました。

顧客満足に応える倉庫・ 物流会社の設立

お客様のご希望にお応えした、物流及び倉庫業務「ハルナロジスティクス(株)」を設立しました。

企業価値を創造する人材育成

人事基本理念制定プロセスイノベーション型成果主義を導入しています。企業価値を創造する人材集団、社員育成となる製造者養成ビジネススクールを開講しています。

地元地域の方々とのふれあい

群馬県高崎市足門町、敷地内に緑地公園を整備、地元開放しています。四季折々の草花が咲き、地元住民の方々や社員の憩いの場として活用しています。

健康をテーマとした商品の開発

ハルナエコロジー株式会社は「健康」をテーマにした研究開発分野と海外商品分野を拡大、その1年後には医師のアドバイスのもとウェルネスサイエンス研究所で本格稼働しました。

全工場においてHACCPの認証

ハルナビレッジ(株)全工場においてHACCPの承認。本社工場「食品衛生優良施設」群馬県知事賞受賞。

健康飲料を世界へ

世界で認知されるべく日本のお茶を海外へ向け販売、スウェーデン出身のPaterLarsson氏と世界へ広めたいとハルナグループは「ハルナヨーロッパSA」共同創業しました。



環境会計の報告

2003年4月環境会計に着手、四半期報告会で公表してきました。省エネルギー対策、廃棄物の再資源化、減量化対策に取り組んでいます。

社員同士の交流会議

グループ会社社員一同が集合し、自身の仕事への心情や会社の将来を会話出来る場となる合同全体会議を開催しています。

